



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towavakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	45,225	8.4	6,387	△5.4	7,597	1.0	5,139	2.8
25年3月期第3四半期	41,704	14.8	6,754	△6.6	7,526	1.9	4,998	15.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,157百万円 (1.3%) 25年3月期第3四半期 5,092百万円 (18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	302.42	—
25年3月期第3四半期	294.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	97,631	59,288	60.7
25年3月期	89,705	55,610	62.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 59,288百万円 25年3月期 55,610百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
26年3月期	—	37.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	61,300	11.0	9,000	16.5	9,700	1.6	6,600	6.4	388.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	17,172,000 株	25年3月期	17,172,000 株
26年3月期3Q	176,730 株	25年3月期	176,689 株
26年3月期3Q	16,995,294 株	25年3月期3Q	16,995,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するもとで、引き続き個人消費は底堅く推移しており、緩やかに回復しております。今後も、消費増税に伴う駆け込み需要とその反動の影響を受けつつも、基調的には緩やかな回復を続けていくものとみられます。

医療用医薬品業界では、平成25年度は診療報酬改定もなく、平成24年4月に実施された後発医薬品調剤体制加算の再見直しの影響もほぼ一巡したため、ジェネリック医薬品市場の拡大には一服感がありますが、平成25年4月に厚生労働省から発表された「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」には、“平成30年3月末までに60%以上”という新たな後発医薬品の数量シェア目標が示されており、今後とも、政府の新たな促進策が打ち出されることが期待されます。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、得意先別では、引き続き保険薬局向けの売上が伸長しており、直近3カ月の社内売上比率は初めて60%を超えました。また、品目別では、アムロジピンやランソプラゾールなど、製剤付加価値の高い製品を中心に売上が順調に推移しました。また、平成25年12月に発売した新製品につきましても、ジェネリック医薬品唯一のピタバスタチン製剤のOD錠であるピタバスタチンCa・OD錠1mg/2mg「トーフ」を中心に売上増に寄与しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、45,225百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

コスト面では、山形工場の減価償却費の増加などにより、原価率が上昇しました。また、付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は6,387百万円（同5.4%減）となりました。一方、円安に伴うスワップ評価益615百万円などを営業外収益で計上したため、経常利益は7,597百万円（同1.0%増）、四半期純利益は5,139百万円（同2.8%増）となりました。

なお、今後の業界環境につきましては、平成26年4月の薬価改定において、現在発売されている後発医薬品の薬価を市場実勢価格に応じて3価格帯に集約する新たな仕組みが導入されることになりました。これは、従来のメーカー・製品ごとに市場実勢価格に応じて細かく薬価が決められていた従来の薬価制度からの大きな変更であり、比較的薬価の低い他社製品とともに同一の薬価に集約されることで、当社が過去10年以上にわたって推し進めてきた適正価格販売の成果である比較的高い薬価を一度に失いかねないものであります。

このような業界環境の大きな変化に対し、現在、当社では経営戦略の見直しをおこなっておりますが、これまで確立してきた当社の「品質」「安定供給」「付加価値製剤」「適正価格販売」などに対する信頼性が引き続き当社の強みであることには変わりなく、価格帯の集約により価格以外の要素が重要視されるような競争環境に変化していくことになれば、むしろ当社の相対的な競争優位性が高まるものと考えます。当社は、この大きな変化をチャンスととらえ、予想される新たな競争環境において、信頼されるジェネリック医薬品企業として勝ち残っていきたいと考えております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、97,631百万円となり、前連結会計年度末比7,925百万円の増加となりました。そのおもな要因は、建設仮勘定の増加2,471百万円、現金及び預金の増加2,194百万円などであります。

負債につきましては、38,343百万円となり、前連結会計年度末比4,248百万円の増加となりました。そのおもな要因は、長期借入金の増加3,787百万円であります。

純資産につきましては、59,288百万円となり、前連結会計年度末比3,677百万円の増加となりました。そのおもな要因は、利益剰余金の増加3,659百万円であります。

その結果、自己資本比率は60.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、平成25年5月14日に公表した計画を上回るペースで推移しております。

第4四半期につきましても、同様の推移を見込んでおり、平成25年5月14日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想(通期)を修正いたします。

なお、平成25年5月14日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 60,800	百万円 7,800	百万円 7,850	百万円 5,200	円 銭 305 97
今回修正予想 (B)	61,300	9,000	9,700	6,600	388 34
増減額 (B - A)	500	1,200	1,850	1,400	—
増減率 (%)	0.8	15.4	23.6	26.9	—
前期実績	55,241	7,723	9,544	6,201	364 87

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 59,100	百万円 —	百万円 7,650	百万円 5,100	円 銭 300 08
今回修正予想 (B)	59,600	—	9,600	6,650	391 28
増減額 (B - A)	500	—	1,950	1,550	—
増減率 (%)	0.8	—	25.5	30.4	—
前期実績	53,624	7,541	9,358	6,091	358 44

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動)  
該当事項はありません。

なお、大地化成(株)については重要性が増したため、第1四半期連結累計期間より、新たに連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,485	5,680
受取手形及び売掛金	17,217	18,909
有価証券	3,000	4,000
商品及び製品	10,450	12,185
仕掛品	3,925	3,917
原材料及び貯蔵品	5,295	5,639
その他	3,764	3,531
貸倒引当金	△89	△147
流動資産合計	47,049	53,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,271	20,408
機械装置及び運搬具（純額）	8,388	8,312
土地	6,694	7,249
建設仮勘定	724	3,195
その他（純額）	918	846
有形固定資産合計	37,997	40,012
無形固定資産	768	796
投資その他の資産		
投資有価証券	2,108	2,200
その他	1,870	911
貸倒引当金	△88	△5
投資その他の資産合計	3,890	3,106
固定資産合計	42,656	43,914
資産合計	89,705	97,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,482	8,657
短期借入金	400	1,050
1年内返済予定の長期借入金	2,825	2,925
未払法人税等	1,667	1,087
引当金	74	78
その他	7,069	6,230
流動負債合計	19,519	20,029
固定負債		
長期借入金	12,908	16,696
引当金	156	161
その他	1,510	1,455
固定負債合計	14,575	18,313
負債合計	34,095	38,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	43,536	47,196
自己株式	△638	△639
株主資本合計	55,485	59,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	142
その他の包括利益累計額合計	124	142
純資産合計	55,610	59,288
負債純資産合計	89,705	97,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	41,704	45,225
売上原価	20,132	22,306
売上総利益	21,572	22,919
販売費及び一般管理費	14,818	16,532
営業利益	6,754	6,387
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	3	3
技術指導料	37	45
為替差益	—	134
有価証券評価益	79	197
スワップ評価益	608	615
貸倒引当金戻入額	54	87
その他	228	231
営業外収益合計	1,037	1,338
営業外費用		
支払利息	79	84
有価証券売却損	96	—
為替差損	35	—
その他	53	42
営業外費用合計	265	127
経常利益	7,526	7,597
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	9	0
特別損失		
固定資産処分損	19	48
工場用地移転損失	—	68
特別損失合計	19	116
税金等調整前四半期純利益	7,516	7,481
法人税等	2,517	2,341
少数株主損益調整前四半期純利益	4,998	5,139
四半期純利益	4,998	5,139



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,998	5,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	17
その他の包括利益合計	94	17
四半期包括利益	5,092	5,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,092	5,157
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。